

【担当教員名】 亀尾 徹	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

広範な応用医学であるスポーツ医学の概念を認識し、プロスポーツ選手、一般競技スポーツ選手、スポーツ愛好家に対するスポーツ医学における理学療法のあり方と評価、治療、管理、予防などについて理解を深める。
また、成長期運動選手、高齢者、女性など、ある特徴を持った運動グループに対する配慮などについても学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. スポーツ医学の概要を踏まえ、理学療法および理学療法士の存在意義を説明できる。
2. 代表的なスポーツ障害・外傷の病理と臨床パターンについて説明し、評価および治療を選択できる。
3. 理学療法における禁忌、注意事項を抽出し、予後を設定し、個人に見合った評価・治療を計画できる。
4. スポーツ障害・外傷のリハビリテーションに特有なトレーニング方法について説明できる。
5. スポーツ障害・外傷のリハビリテーションに用いる補装具およびテーピングについて説明し、実践できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	スポーツ医学およびスポーツ障害・外傷の理学療法総論	1	講義
2	スポーツ障害・外傷のリハビリテーションに特有なトレーニング方法	2, 3	講義
3	部位別スポーツ障害・外傷と理学療法 腰部・骨盤帯・股関節	2, 3	講義
4	部位別スポーツ障害・外傷と理学療法 膝関節	2, 3	講義
5	部位別スポーツ障害・外傷と理学療法 肩複合体	2, 3	講義
6	部位別スポーツ障害・外傷と理学療法 足部	2, 3, 4	講義
7	スポーツ障害・外傷のリハビリテーションに用いる補装具およびテーピング	2, 3, 5	講義
8	テーピング実習Ⅰ	5	実習
9	テーピング実習Ⅱ	5	実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	なし、プリント			
参考書	Clinical Sports Medicine	Brukner他	McGraw Hill, Australia,	2002
その他の資料				
【評価方法】	【履修上の留意点】			
定期試験その他				